

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和元年 5 月 28 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490900150		
法人名	株式会社サンクリエイト		
事業所名	西町グループホーム		
所在地	広島県三原市西町一丁目10番8号 (電話) 0848-62-9531		
自己評価作成日	平成31年4月1日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3490900150-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和元年5月23日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

お一人お一人、大切に見守り、声掛けを行い、心に沿って笑顔が見られる暮らしをしていただけるよう、支援しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

同事業所の室内は、シンプルながら天井等お洒落で趣が有り居心地良く造られ、整理整頓・清掃が行き届いている。管理者は安心したケアが出来るよう良い手本となり、スタッフを育てている。家族に対しても「出来る事、出来ない事」を説明し、共に支援出来る様、話し合いを行いながら支援に努めている。運営法人は、職員の資格取得等に対して積極的にバックアップを行う体制が構築されている。同事業者は、地域に対しても希薄になりがちな付き合いを、例えば出前講座の開催等アイデアを出しながら、更なる関係を築くよう努力する姿勢が感じられる。また風水害の経験を通じて近隣住民や関係市町等との、連携強化に取り組むため試行錯誤しながら運営している。
--

自己評価	外部評価	項 目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践にっている。	玄関と各フロアー入口に額に入れて掲げ、スタッフ全員の名札に基本理念をつけて共有し、実現に取り組んでいる。	事業所の基本理念(安心した生活・一人ひとりに寄り添った暮らしを提供・地域交流を大切に)を定め、利用者本位の支援・地域との共生を掲げ、実践に活かせる取り組みがされている。職員は新任研修や定期的な話し合いを通して、利用者の暮らしを支援出来る様努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	事業所の行事等をお知らせし、ボランティアの慰問の願いを行い、交流を深めるよう努めている。	事業所は町内会に加入し、日頃より近隣住民と繋がる努力がされている。地域は世代交代で以前の様な付き合いは少なくなっているが、地域の理容院に出掛けたり、町内の回覧を利用し近隣と繋がる努力をしている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	町内会に入会している。災害時には、地域の方々の一時避難場所としての提供を考えている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に一度、運営推進会議を開催し、運営状況等を報告し、出席者との意見交換を行っている。	会議は定期的に行われ関係者が出席し、会議の内容は活動報告や今後の予定、利用者の状況の報告も行なわれ、会議録は分かり易くまとめられている。また家族等の質問には丁寧に説明を行い、不参加の家族には会議録を送付している。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議に参加していただき、施設の状況を把握していただいている。	運営推進会議に参加してもらったり、日頃から報告や相談事が有れば市町と協力関係を築く努力はされている。昨年の災害を通して、更なる市町と連携を築く取り組みがされている。また職員は行政主催(三原、尾道市合同)の研修会に出席し関係の構築に取り組んでいる。	

自己 評価	外部 評価	項 目 (1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	勉強会等を行い、スタッフに周知を図っている。身体拘束の研修会にも参加している。	玄関は日中は施錠していない。職員は話し合いで夜勤帯の（職員1名利用者9名）の難しさ等、支援の有り方を共有し、見守りを重視し拘束しないケアに取り組んでいる。言葉による行動の制限も、職員間で注意をしながら支援する取り組みがある。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	施設外の研修参加、施設内での勉強会により、職員間の理解を深めたり、意見交換を行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見人制度を利用されている利用者がおられる為、スタッフには説明を行っている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居時の契約時に、締結、解約、改定等の説明を行い、不安や疑問を払拭するよう努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議に、ご家族代表の方に参加していただき、意見交換の場を設けている。利用者様には日々の会話から要望されている事を聞き取るよう努めている。	家族が来所時等に意見を求める機会は設けている。事業所は運営推進会議を利用したり、担当者から定期的に手紙や電話等で、身近な出来事を細かく知らせる努力はされており、事業所は家族の意見を反映する努力が続けられている。	

自己 評価	外部 評価	項 目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月に一度フロアーミーティングを行い、職員の意見や提案など話し合う機会を設け、個人面談を行い、運営に反映させている。	事業所は働き易い環境を作る為の体制は整えている。職員からの意見は会議の場のみではなく様々な場面で行っている。例えば業務改善は会議等で意見を聞き、食事内容を工夫する等、職員からの要望が有れば話し合い、必要に応じて反映させるよう取り組んでいる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	代表者は管理者、スタッフ代表と会議を行い、スタッフの意見等を踏まえ、職場環境の整備に努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	施設内、施設外の研修に参加出来るよう配慮している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	地域で開催される研修会に参加し、多職種とのつながりを大切にし、他施設の方との意見交換や実践成功例を持ち帰りスタッフに伝達している。		
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居前の施設見学の際、管理者とケアマネが話を傾聴しながら、関係を築いている。		

自己 評価	外部 評価	項 目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	利用前の見学とアセスメントを通して、家族の不安、要望の把握に努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご本人、ご家族の話をよく聞き、必要とされる支援に対応するよう努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	入居者の方のできる事や可能な事などお願いし、スタッフが一緒に行っている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	消耗品、物品の持参をしていただく協力をお願いし、定期的に面会にきていただき、外出・外泊の支援もさせていただいている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご近所の方や知人の方などの面会も受け入れ、電話等の取り次ぎも行っている。	面会は家族や知人の都合の良い時間に来所頂いている。また本人・家族の希望でお正月やお盆等家族と出掛け楽しんでいる。外出が困難な利用者は、定期的に訪れる医師や美容師と顔馴染みになっている。更には職員は利用者と家族写真を見る等、関係の継続を支援している。	

自己評価	外部評価	項 目 (1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者一人ひとりの関係を把握し、無理なく関わりながら、生活が出来るよう支援に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	サービス終了時に相談等対応出来る旨を伝えている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者本人の要望、意向を家族と共に定期的に話をし、支援の方法等を引き出していく。それを基にケアプランの見直しも検討している。	利用者の生活歴や暮らし方を把握し、介護記録等を通して職員は情報を共有し支援している。例えば入り口近くの居室に掛けてあるカーテンは外からの視線を防ぐ工夫がある。また利用者と家族の思いが違う場合は、本人本位のケアに寄り添い家族と話し合い共に支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	アセスメント情報交換を行い、生活歴やなじみの暮らし方など、本人との会話などから聞き出し、把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日常の生活を過ごしていく中で、心身の状態や身体機能の現状を把握するよう努めている。		

自己 評価	外部 評価	項 目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	ミーティングや関係者への相談、家族から聞き取りながら、ケアマネを中心に担当スタッフと一緒にケアプランの作成を行っている。	本人の様子を観察し、家族の意見を聞きながら介護計画を立てている。計画に添ってモニタリングシートで確認を行い、月1回の会議に於いて、見直しが必要な場合は担当者や家族と話し合い、現状に即した支援を行っている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	個別記録内容を充実させたり、申し送りノートを活用し、スタッフ間での情報交換を行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	本人や家族のニーズの変化に対応して、希望に近づけるよう、支援やサービスに取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	ボランティアの受け入れや、地域の方の見学などに対応している。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	かかりつけ医の往診を受け入れ、転院の際には、紹介状の依頼をしている。家族付き添いの受診時には、主治医宛に体調や状況を文章で伝え、適切な医療を受けられるよう配慮している。	利用者の殆どは事業所の協力医療機関をかかりつけ医としており、往診は定期的に受けている。協力歯科医も必要に応じて受診を受け口腔ケアは定期的に受けている。また服薬も担当の薬剤師の指示のもと行われている。有事の時は管理者は医師、訪問看護と共に対応している。	

自己評価	外部評価	項 目 (1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	日頃から状態観察を行って、気付いた事は報告する体制をとり、異変時は往診か受診の判断をお願いしている。また24時間体制で連絡がとれるよう、緊急時の対応をしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ケアマネージャーとソーシャルワーカーが連携をとりながら、情報交換を行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居時に重度化した場合の受け入れ施設の申込みをしていただき、当施設でも終末期に向け、ご家族等と話し合いを行い、十分に説明しながら、ケアが提供できるよう努めている。	終末期ケアは入居時に家族に説明を行い同意を得ている。重度化した場合は、改めて家族と話し合い、他の医療施設等を紹介する。職員の研修は事業所の方針に従い、例えば誤嚥等予防に重きを置き、適切にチームで支援が出来るよう取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	AED研修や救急マニュアルを活用して、十分ではないが、実践力を身につけている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を楽しんでいる。	年2回の避難訓練の実施、火災・水害・地震の場合の避難場所を決めている。地震・津波・水害時の訓練の実施や避難経路マップを作成している。	消防訓練は年2回行われている。昨年の洪水と近隣の夜間での火事と災害が続いた。事業所は川の傍に位置しており、火災・風水害に対して今後の教訓とし活かした取り組みを始めている。地域との連携は、生活用水（風呂・洗濯・トイレ）を確保してくれた近隣住民や職員の家族の協力を得られた。	

自己 評価	外部 評価	項 目（ 1F ）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（ ）内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	職員は、施設内・施設外の研修、勉強会などを受け、一人ひとり思いやりを持った声掛けを行っている。	職員は、利用者一人ひとりの生活歴を活かし誇りを傷つけないよう配慮している。また平素の会話で、その人に合った言葉掛け等、誇りを傷つけないよう取り組み、スタッフ研修は、接遇等（親しみと慣れ合いの違い）を常に意識し、適切な支援に取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	思いや希望を表しやすいように、日常生活の中で、働きかけたり、雰囲気作りに努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	ケアの状況によって、職員側の都合を優先する事もあるが、常に個人の想いを尊重し、無理のない生活を支援できるよう心がけている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	定期的に訪問理髪・美容を依頼している。ご自分で洋服を選んでいただけるよう声掛けを行ったり、困難な人には、身だしなみが整えられるよう支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事前のテーブル拭きをしていただいたり、本日のメニューの話をしたり、おやつには、既製品だけでなく、手作りのおやつを作るよう配慮している。	日常の食事は配食センターを利用し、ご飯汁物は手作りしている。メニューによっては昼夜を入れ替えたり、職員が作り替え味の工夫もされ、利用者は美味しそうに完食している。食事環境に於いても利用者の席順を考慮し、楽しい食事が出来るよう支援している。	

自己評価	外部評価	項 目 (1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の () 内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事摂取量、水分量のチェック表を使用し、1日に必要な量が確保、維持できるよう努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後の口腔ケアを見守り、声掛けを実施している。必要に応じ、歯科医院より歯科衛生士の口腔ケアをお願いしている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄記録を活用し、一人ひとりの排泄パターンを把握するよう努め、トイレの誘導を心がけている。	利用者個々の排尿チェック表を確認し、話し合いで検討しながら共有し、声掛け等行動パターンを把握している。トイレには小さなファンレストテーブルを設置し、潜在能力を引き出せるよう取り組んでいる。スタッフはしっかり見守りを行いながら支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	排泄状況の確認をし、便秘傾向の方には、薬剤と乳製品の摂取や看護師に相談しながら、便秘予防に努めている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	入居者からの要望や気分を尊重し、無理なく個々に応じた入浴の支援をしている。	利用者一人ひとりの暮らし方や希望に合わせ、快適な入浴を心掛けている。例えば長風呂をする利用者には、好きな歌を歌いタイマー代わりにして、長風呂防止に役立てている。ボディシャンプーやヘアシャンプーもその人に合った物を用意し安心、安全な入浴を支援している。	

自己 評価	外部 評価	項 目 (1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	日々の体調を把握しながら、一人ひとりの状況に応じて、安心して休息や臥床が出来るよう配慮している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	一人ひとり処方される薬の説明書は、ファイリングし、必要時は確認している。個々にあった服薬援助を行い、病状や副作用の観察を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	張り合いや喜びを感じたり、気分転換が図れるように、各個人に合った役割を提供できるよう支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	季節に合わせた行事を計画、実施したり、家族の協力を得て、ドライブに出掛けたり、状況を見て戸外へ散歩できるよう努めている。	日常的に散歩が出来る利用者は少なく、家族の協力の下ドライブ等に出掛けている。歩行困難な利用者はベランダの、景色の良い場所で日光浴を行う等、戸外に出るよう支援している。職員は話し合いを行いながら、少しでも多く外出支援が出来る様取り組んでいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	入居者全員、預り金があり、事務所で管理している。本人の申し出があれば使用できる。		

自己評価	外部評価	項 目 (1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご本人が希望されれば、その都度対応している。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	共有スペースは過ごしやすく、物の配置など工夫している。季節感や生活感などを取り入れる事で、居心地良く過ごせるようにしている。	玄関を入ると掃除が行き届いたエントランス、広めの階段がある。1,2 階（ユニット）共、大きなはき出しの窓から光が降り注いでいる。法人が設計した建物は、シンプルな中に居心地良い工夫が感じられる。整理整頓が隅々まで行き届き、綺麗で便利良く過ごせる工夫をしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	共有空間は自由なスペースとして、利用者の思いのまま過ごしていただいている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居室には、使い慣れた物を持って来られたり、家族写真を飾られたり、穏やかな気持ちになれるような空間になっている。	居室入り口には、家族が手作りのパッチワーク風の表札や、趣のあるのれんが掛けられている。室内は洗面台が備えられており、其々整理整頓がされている。スタッフは天気の良い日は、順番に布団を小まめに干す等、快適に過ごして貰うため日々支援に努めている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	手すりの配置や、一人ひとりの居室の環境の整備等にて、安全・自立に配慮している。		

V アウトカム項目(1F) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項 目（ 2F ）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（ ）内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	玄関フロア、スタッフルームに揚げてスタッフが常時目が届くようにしています。新職員には入社時に説明し、スタッフ全員で共有し実践するよう心がけています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	施設近隣の住民は高齢化し空き家が増えています。住民も若い世代が増えてきており交流が困難な状況です。今後は出前講座等で多世代の方との交流の機会を設ける必要がある。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	推進会議等で町内会長、民生委員と話をすることで施設の現状を伝え理解を深めて頂けるよう努めています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2か月に1度実施し、家族様代表・民生委員・町内会長・地域包括センター・市役所職員の参加して頂き、施設の現況報告や参加者より意見を頂きながらより良いサービス提供に向けた話し合いを行っています。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	高齢者福祉課の職員に相談や疑問点が生じた際にはすぐ対応して頂き、お互い協力し合えるよう連携しています。		

自己 評価	外部 評価	項 目 (2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束を実施する際は解除に向けた話し合いを持ち、定期的に勉強会を設けています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	施設外の研修や、伝達研修を行うことで職員が各自自覚を持ってサービスを提供しています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	虐待防止の研修と併せて職員に周知を図っています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	必ず管理者が、入居前・入居時・退居時に十分な説明を行い納得・理解をして頂いています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	玄関にご意見箱を設置し、家族様からの要望や意見等職員全員が把握できるよう申し送り、サービスに反映できるようにしています。		

自己 評価	外部 評価	項 目 (2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月実施しているミーティングで意見や提案を出し合い業務連絡やサービスの統一を図っています。また、随時担当者会議を実施し代表と職員の意見交換を行っています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	管理者が職員のヒアリング結果を基に、代表者と話し合いの場を設けています		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	施設内の研修・施設外の研修に積極的に参加することで自己研鑽を促しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	地域の研修会に参加し、顔馴染みになり情報交換する中でサービスの質が向上するよう努めています。		
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	管理者が施設見学の際、家族様・本人様と面談を行い、納得・安心して頂けるよう関係作りに努めています。		

自己 評価	外部 評価	項 目 (2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	サービス利用時に、サービス内容を詳しく説明し、家族様・本人様の要望等その都度確認しながら信頼関係が保たれるよう努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	入居前に必ず居住されている所へ出向いて面談を行い、必要とされる支援を含めたサービスプランになるよう努めています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	本人様の体調を考慮し、家事を含めた軽作業や作品作りをして頂いています。家庭的な雰囲気では他人居者様や職員とも良い関係が築けるよう努めています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	面会時等に、その都度近況報告や雑談しながら家族様と良い関係築けるよう努めています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	面会や外出・外泊の規制は設けず、どなたとでも楽しい時間を過ごして頂けるよう支援しています。		

自己 評価	外部 評価	項 目 (2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の () 内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	入居者様が孤立を感じることがないよう入居者様同士・職員と話をしたり、作品作りを通して仲間作りの意識を持って頂けるよう努めています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退居後も情報・書類は保管し、家族様からの相談等があれば直ぐ対処できる体制をとっています。		
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者様それぞれに担当者を決め、本人様の希望を把握し援助に反映できるよう努めています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前・入居時のアセスメントで、家族様・本人様に今までの暮らしぶりをお聞きしたり、また普段の関わりからも情報収集できるよう努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	本人様に無理のないようなペースで施設の生活を送って頂いています。		

自己 評価	外部 評価	項 目 (2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	入居者様担当者が、モニタリングや見直しを行い、月に1度のミーティングで意見交換し、ケアプランに反映させています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	申し送りノートを活用しながら情報共有し、ケアプランの見直しに活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	随時、家族様・本人様からの要望があれば変更や追加をしてニーズに応えられるようにしています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域包括支援センターの協力を得ながら地域の資源を活用していきたい。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	協力医院（内科は月2回、歯科・皮膚科は随時）の往診、急変時には他病院への紹介等対応して頂いています。		

自己 評価	外部 評価	項 目 (2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	月 2 回正看護師による健康観察や処置を受けています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は介護サマリーで情報提供し、退院時は看護サマリーで情報提供を受け、施設で安心安全な生活が送れるよう努めています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	要介護 3 以上の認定がされた場合には家族様に特養申し込みの相談をさせて頂いています。看取りについては事前確認書で家族様の意向を把握し、随時十分なケアが提供できる体制をとっています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	准看護師による勉強会の開催の実施と正看護師による勉強会を計画しています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年 2 回の災害訓練では、マニュアルに基づき自然災害に対応できるよう訓練を行っています。		

自己評価	外部評価	項 目（ 2F ）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（ ）内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	介助が必要な時は、側で声かけする等配慮し、入居者様の性格を把握してその方に合ったケアを実践しています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	日々の会話から希望を聞き出したり、多様な選択肢の中から入居者様に選んで頂けるように努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	今までの暮らしを考慮し、自宅にいるような気持ちでいられるようゆったりした時間の中で過ごして頂いています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	訪問美容で散髪後のお化粧を楽しみにされます。日常着は入居者様に選んで頂くようにしています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	昼食時には行事食として、ちらし寿司・お好み焼き・焼きそば等通常メニューを変更し、目の前で職員と一緒に作って楽しんで頂いています。		

自己 評価	外部 評価	項 目 (2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事摂取が困難な方には、普通食→一口大→刻み→ミキサー→ムース食へと随時変更し全量食べて頂けるよう努めています。米飯は、軟飯→お粥→お粥ミキサーと対応し経口摂取に努めています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後の口腔ケアと必要に応じ協力医院の歯科医師・歯科衛生士の歯科治療と口腔ケアお願いしています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄表による定時誘導や随時誘導での排泄介助を行いトイレでの排泄を心がけています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	食事・水分摂取量に配慮し、不足時はそれぞれ補うようにしています。便秘が続く時は主治医に相談し緩下剤を処方して頂きコントロールしています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	週2～3回入浴して頂いています。入浴は1対1ですが介助の度合いに応じ2人体制で行っています。入浴剤で温泉気分を味わったり、歌を歌って楽しんで頂いています。		

自己 評価	外部 評価	項 目 (2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。	入居者様が無理のないよう、食 後の休息や希望される時は休ん で頂いています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。	主治医処方薬は薬説明書をファ イリングしわかりやすくしてい ます。確実に服薬して頂き、異 変があれば直ぐ主治医に連絡し 指示を仰いでいます。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。	家事・軽作業・レク・体操を行 うことで気分転換を図っていま す。毎日行うことで習慣化し身 体機能の維持にも繋がってい ます。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出かけ られるように支援している。	日光浴や散歩、花見の時期は全 員参加できるような支援体制を とっています。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。	入居者様が金銭を保管することは トラブルにつながるため基本的 には事務所の金庫で預かってい ます。入居者様の強い希望があ る時は家族様に了解を得て少 額持たせて頂いています。		

自己 評価	外部 評価	項 目 (2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	希望時はその都度対応しています。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居室は掃除の際換気を行い、リネン類は定期的に洗濯や天日干しを行い清潔に留意し、共有部分は壁面飾りで季節感を演出したり、各自の作品を展示しています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	ソファではテレビを観ながら入居者様同士会話したり本人の望むように過ごして頂いています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居室には使い慣れた物を持ち込んで頂いたり、家族写真を飾ったりされ穏やかな気持ちで過ごされています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	施設内はバリアフリーで安全に生活できています。不安定な独歩の方には手すりを活用し安全な歩行に努めています。		

V アウトカム項目(2F) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 西町グループホーム

作成日 令和1年6月29日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	日常的な外出支援が出来ていない。	施設外に出る機会を増やす。	天気の良い日は、ベランダ等で日光浴などをしていただく様にする。	半年
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には, 自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は, 行を追加すること。